

**宝塚大学 看護学部 看護学科 2022年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(2022年度入学生科目) 新課程**

担当教員	専任/ 非常勤	2022授業科目	科目ナンバ	必修/ 選択	単位数	時間数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
澤田 京子	専任	基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60	総合病院で看護師として内科と外科の臨床経験がある。また、企業での健康管理室での健康教育に携わった。	臨床での事例を踏まえて、看護の役割・機能を教授する。また事例を用いて主な理論の活用についても教授する。
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
北島 洋子	専任	基礎看護学概論	KSP11101	必修	2	30	大学病院で看護師として小児科病棟に勤務し、血液疾患や悪性疾患の看護に携わった。また、腎臓泌尿器科病棟に勤務し、人工透析や糖尿病の看護を経験した。	小児期から成人期、老年期にわたる各発達段階に応じた看護を提供するための、基礎的な知識と技術、看護専門職としての基礎となる考え方を修得するための学習を支援する。
		看護理論	KSP11102	必修	1	15		
		看護コミュニケーション論	KSP11202	必修	1	30		
		基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60		
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
平野 加代子	専任	基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60	総合病院で看護師として急性期病棟(外科、内科、小児科、脳神経科)、整形外科、産婦人科等での臨床経験がある。また、産科病棟での臨床経験がある。また、看護学生の実習指導にも携わっていた。	臨床での事例を踏まえて基礎看護技術を教授する。また臨床で日常的に行われているフィジカルアセスメントや看護過程の展開や事例提供を行い、より臨床に近い状況を想定した授業内容を教授する。
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
梅川 奈々	専任	基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60	看護師として、総合病院の脳神経外科、産婦人科等での臨床経験がある。	実践で使える技術の習得に向けて、根拠をふまえた基礎知識、技術について説明を行う一つ、デモンストラーションにも力を入れている。看護過程の展開の為に必要なスキルの基礎を教授する。
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
瀧山 由美子	専任	基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60	総合病院で看護師として脳外科、内科、手術部、救命救急の臨床経験がある。また、内科、腎臓泌尿器科の診療所で内視鏡検査の看護を経験した。	疾患の重症度や発達段階にあわせた看護を提供するために必要な基本的な知識と技術の習得を支援する。命の尊厳と心の尊重を基礎として安全で安楽な看護の修得を支援する。
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
桶河 華代	専任	地域・在宅看護学概論	KSP21101	必修	2	30	総合病院で看護師、認定看護師、看護師として、循環器科・呼吸器内科・救命救急センター・集中治療室での臨床経験がある。シミュレーションを用いたスタッフ教育を実践してきた。また、新人看護師研修師として、新人看護師教育に携わっている。	健康障害を持つ人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、患者の気にかかりを中心とした情報解釈・分析し、科学的根拠に基づいた看護が実践できるよう教授する。
		地域・在宅看護学援助論Ⅰ	KSP21102	必修	1	15		
		地域・在宅看護学援助論Ⅱ	KSP21103	必修	2	30		
		地域・在宅看護学援助論Ⅲ	KSP31201	必修	1	30		
中川 ひろみ	専任	成人看護学概論	KSP21104	必修	1	15	大学病院で看護師、認定看護師、看護部長として内科と外科、集中治療室、救命救急での臨床経験がある。成人期にある人々を対象とした看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ急性期、慢性期、終末期にある成人期の人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
		成人看護学援助論Ⅰ	KSP21204	必修	2	60		
		成人看護学援助論Ⅱ	KSP21205	必修	1	30		
		成人看護学援助論Ⅲ	KSP31202	必修	2	60		
加藤 泰子	専任	老年看護学概論	KSP21105	必修	2	30	公立病院の消化器外科、泌尿器科、産科、救急重症科において、看護師として臨床経験を積んだ。小児～成人期、老年期の人々への看護を実践し、その中でも特に、老年期にある人々の急性期～終末期に携わった。	入院・手術・治療などが高齢者の心身に与える影響について、臨床での事例を示しながら、学生がより高齢者の特徴を理解できるよう教授する。また、若いや病気への思い、生活の困りごとなどについて、高齢者、認知症のある高齢者の実際の言葉を紹介しながら、リアルタイムで感じられる講義を展開する。
		老年看護学援助論Ⅰ	KSP21206	必修	1	30		
		老年看護学援助論Ⅱ	KSP31203	必修	1	30		
松尾 ひとみ	専任	小児看護学概論	KSP21106	必修	2	30	看護師として、600床の民間病院で3年間外科・NICUを経験後、小児専門病院で循環器、NICU、ICU、感染症を10年経験した。実習指導者や新人指導者経験し、旧日本看護協会看護研修学校に入学した。教員となってからは、臨床の小児看護師の事例検討や研究の相談を行ってきた。	小児看護の実践の根拠として有益な知識や理論を教授し、初学者でも実習で理論を活用できるよう、知識と実践の統合を促進する教育方法を組み立てている。
		小児看護学援助論Ⅰ	KSP21207	必修	1	30		
		小児看護学援助論Ⅱ	KSP31204	必修	1	30		
鷲尾 弘枝	専任	母性看護学概論	KSP21107	必修	2	30	大学附属病院、病院、診療所において助産師としての臨床経験がある。また、産科だけでなく、婦人科での臨床経験がある。さらに、病棟管理室として、臨床指導者として、看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ女性及び産前産後にある母子の生理的変化、身体的・精神的・社会的な特徴と看護ケアについて教授する。また、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
		母性看護学援助論Ⅰ	KSP21208	必修	1	30		
		母性看護学援助論Ⅱ	KSP31205	必修	1	30		
西垣 里志	専任	精神看護学概論	KSP21108	必修	2	30	精神科病院で、看護師、認定看護師としての実務経験がある。急性期、慢性期、外来、訪問、家族などを対象とした臨床経験があり、看護学生の実習指導にも携わってきた。	地域で生活する人々に対しての看護と多職種で共同する看護の役割を教授する。すべての年齢、疾患を対象とした健康の保持・増進と健康段階に合わせた看護の提供を教授する。
		精神看護学援助論Ⅰ	KSP21209	必修	1	15		
		精神看護学援助論Ⅱ	KSP21210	必修	1	15		